

ニューウェーブ **New Wave** ウェーブ No.18

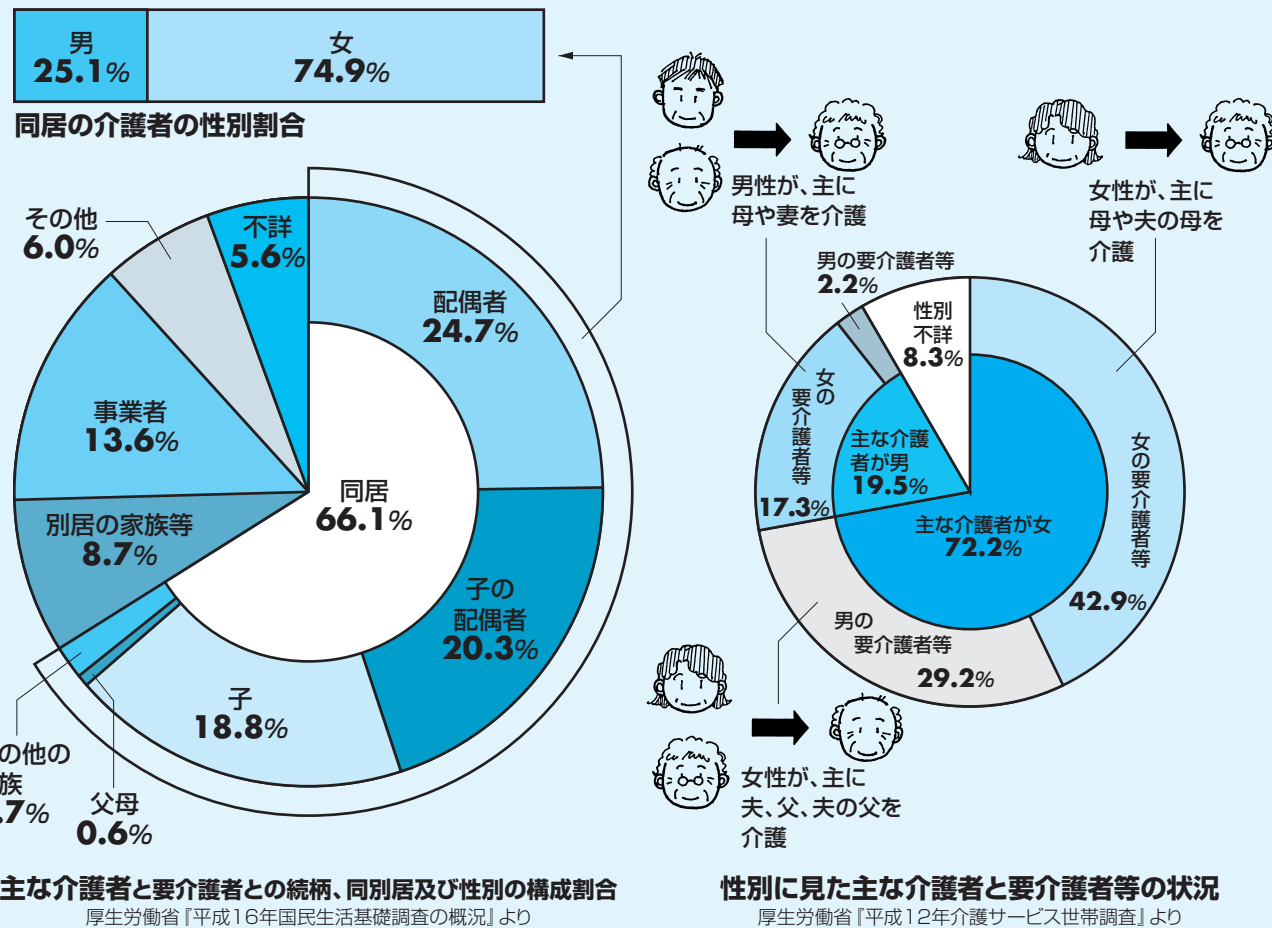
市民と市のパートナーシップが創り出す新しい波

平成18年(2006年)7月25日発行

男女共同参画実現のカギはここに…

団塊の世代に迫る、ほっとけない現実

子どもたちが巣立ち、ようやく自分らしく過ごすことができる…。それが団塊の世代(シニア)のイメージ。さて、実際のところはどうなのでしょうか？
今回は団塊の世代の男女共同参画について、その実態に注目してみました。



発行/横須賀市 市民部人権・男女共同参画課

★このリーフレットはご自由にお持ち下さい。

横須賀市が昨年行った市民アンケートの項目で、今号の内容に関係するものがありましたので、ご紹介します。

「Q.介護・看護が必要になったとき、主に世話をしてほしい人は?(回答2つまで)」

回答を性別で見ると、男性の2/3は「配偶者」女性の2/3は「介護サービス」と答えています。
ただ、これを世代別で見ると、男女ともに中高年層は「介護サービス利用」を意識している人が多く、逆に若い層…特に男性の若い世代は、外部のサービスには関心が薄く「配偶者を中心とする家族介護」を志向する傾向がうかがえました。

ちなみに…
自分の介護をしてほしい人



被害女性と子どもの自立支援のために

～かながわ女性のスペースみずら出版シンポジウム～

神奈川県内の自治体と協働して、DV(※1)被害女性への支援を行っているNPO法人かながわ女のスペースみずらが書籍を出版したことを記念したシンポジウムが6月5日(月)に、かながわ県民ホールで開催されました。「DV最前線・被害者の自立支援をさぐる」というテーマでDV最前線にかかわる各分野の専門家がパネリストとなり、現場からの意見や現状課題の報告がありました。



DV被害者への支援は勿論のこと、被害現場を目の当たりにする子どもたちへのケアや相談を受ける側の援助者へのケアが重要であるなどの提言がありました。また、会場からのパネリストに対する質問・意見では、被害者へのメンタルケアの必要性や、婦人相談員(※2)の地位向上の必要性などが挙がりました。

※1 「DV」：ドメスティック・バイオレンス(Domestic Violence)の頭文字をとった略語。直訳では「家庭内の暴力」となり、子どもへの虐待や高齢者への虐待も含まれることになるが、一般的には配偶者や恋人などの親密なパートナーからの身体的・精神的・性的暴力などを指す。
※2 「婦人相談員」：売春防止法第35条に規定される公的機関の職員。都道府県には必置義務があるが、市町村には努力義務が課されている。本市には設置されている。

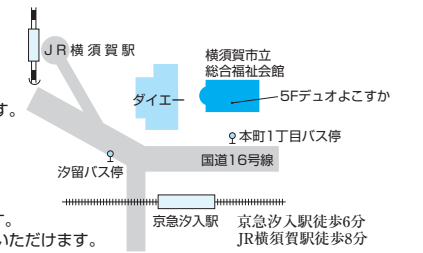
編集後記
団塊の世代と言われる人たちが生まれた年。それは、戦中の記憶が残る昭和22年。ラジオから放送劇「鐘の鳴る丘」のメロディが流れはじめ社会情勢は6.3.3制度発足、日本国憲法施行、古橋400m自由形で世界新。運賃、郵便、電気、酒、タバコなど4倍以上の値上げが行われ物資不足と引き続くインフレに餓死者も出てヤミ取引も生きるためには常識となっていた時代でした。
そんな時代に生まれた世代が、来年から定年を迎えます。現代の日本のイメージを作り上げたといえる人たちの意識に注目してみると、今後の男女共同参画社会実現のヒントが見つかるのではないかと考えてみました。

New Wave 編集委員 早瀬・三澤

◎この広報紙は11,000部製作し、1部当たりの印刷経費は12円です。

デュオよこすか 施設・交通のご案内

- 開館時間 平日・土曜日 9:00~21:00
日曜日 10:00~17:00
祝祭日 9:00~21:00
休館日 年末年始(12月29日~1月3日)
設備保守・点検のため臨時休館があります。
- 図書 貸し出しも行っています。
期間 2週間
冊数 3冊まで
対象 個人
- パソコン 原則として、1時間単位でご利用できます。
インターネットによる情報収集にご利用いただけます。
- ビデオ DVD デュオルーム内で観覧いただけます。
貸し出しはいたしません。研修等にご利用になる場合は、ご相談ください。
- コピー 有料でご利用いただけます。



皆様のご意見やご感想をお待ちしています。

横須賀市市民部人権・男女共同参画課 〒238-8550 横須賀市小川町11 ☎046-822-8228

e-mail we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

ホームページ http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/gender/